

# 大正池

(たいしょういけ)



全景



水辺のレクリエーション施設



## ため池の概要

### ため池の所在地

京都府綴喜郡井手町

### ため池の特徴

大正池は、平成の名水百選「玉川」の源流部に位置し、京都府「文化的景観」に選出されている美しいため池で、その規模も京都府最大のものであります。

池周辺には、シカ、イノシシなどの多くの動物が生息し、水辺には源氏ボタルやモリアオガエル、カワセミなどが見られます。

明治大正の近代化政策の下で急速に発展した土木技術を駆使して、大正時代に大正池及び二ノ谷池の2つのため池が築造されました。しかし、昭和28年「南山城水害」により両池とも決壊し、災害復旧事業により、昭和31～35年に旧二ノ谷池跡地に新しい大正池が築造されました。

平成18年に井手町野外活動センターがオープンし、癒しと交流の空間としてレクリエーション等にも利用されています。

センターを管理するNPOが周囲の草刈り等を行っており、また住民ボランティアや企業が周囲の山林の整備を行っています。

## 関連情報